

准組合員は「地域農業の応援団」

買って応援



農産物直売所では、新鮮な野菜を販売しています。

食べて応援



おにぎり10個で1㎡の水田が守られます。

伝えて応援



〇〇っていいね!

前述のとおり、正組合員のみならず、准組合員のJA利用がJAの経営基盤を安定させ、組合員の「農業」と「暮らし」を支えることにつながり、農家の経営安定に結びついています。准組合員の皆様は「地域農業の応援団」として、産直店舗で地元農産物を購入してもらうことや貯金や共済といったその他のJA事業を利用していただき、私達はその収益で地域農業をより充実・発展していけるよう取り組んでいます。

[ 応援サイクルの図 ]



准組合員について考えよう

JAは、農業振興を目的とした組織として、組合員の暮らしを守り、総合事業を活かした地域密着の事業運営を行っています。農業者のための組織と思われがちですが、それだけではありません。農業者である「正組合員」、それ以外でJAを利用する方を「准組合員」として出資していただき、JAの組合員となります。どちらもJAの大切な仲間であり様々な事業サービスや施設を利用していただくことができます。「准組合員」は、「正組合員」と違い、総会での議決権や役員の選挙権などJAの運営に関与することができませんが、地域を支える協同組合の仲間です。

地域に根ざした協同組合です



正組合員  
農業者の方です

准組合員  
農業者以外の方で  
JA事業を利用するために  
出資いただき  
手続きをした方です



JAの事業運営と地域農業の現状

JAが様々な事業を行うのは、農家の経営安定と暮らしを支えること、地域農業を守ることが目的です。昨今の食品表示の偽装や農薬、異物混入など食の安全・安心を脅かす事件や出来事が相次いで発生したことで、食に対する意識は高まっています。しかし、農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、急速な都市化で当JAの管内においても、農家戸数・農地自体が減少しています。更にこの先も農家の高齢化・後継者不足は深刻さを増し、地域農業における生産力の大幅な減少が懸念されています。このように切迫した現状において、純粋に営農部門のみで得られる利益だけで農家の経営をサポートするのは難しいため、総合事業の収益で補っているのが実情です。